

平成 25 年度 2 級建築士設計製図試験の講評

「レストラン併用住宅(木造 2 階建)」

コスモ建築塾の製図講習会の予想と試験内容（製図講習会は、課題に対応するエスキスが勝負）

試験課題の主な内容と問題点	講習会で指摘した事項と試験の内容
敷地の南北の長さが 14.0m	新鮮な敷地の形状だった。駐車場を 1 台とし、2 台は近隣に駐車させるアメと、敷地を極限まで縮小したムチが見事だった。コスモの方程式（北側から 5 コマ、3 コマ、10 コマで南側は $(3640 + \alpha)$ 残る。）の対応はギリギリとなった。
駐車場 1 台（自家用）	コスモでは近接地に駐車場を借りる案は 2 課題演習したが、まさかであった。過去問では店舗併用 3 台が多いので、この演習を徹底させた。
面積の指示 適宜が多かった	エスキス課題(1)、(2)の問題で適用した。エスキスのまとめも提案した。
北西の角地の敷地	数課題演習した。駐車場の配置は住宅と店舗側を分けて設けることが納まりがよいと指摘。実際の問題は店舗側の 2 台は、近隣地に借りる形で出題された。
レストラン内の独立した室 屋外テラスとテーブル 多目的便所、小規模のLDK	左記の項目については数課題演習したので問題なかった。

今回の試験はエスキスライン（北より 5 コマ、3 コマ、10 コマ）については不変でよいと紹介した。この方法論が納まるギリギリの敷地寸法（14m）で出題された。

他のスパンではまずエスキスは複雑になると思う。南側は 3640 mm の空地が採点上要求されるからである。

今回の出題の特長を述べる。私が予想するに住居系学科の女性の先生と想定する。なぜなら大胆さと繊細さが混在しているからである。

①過去 22 年間で南北の敷地を 14m 迄縮めたことはない。これが大胆である。

細かい点は、非常に多岐に渡っている。客席の上部に子供室は駄目、厨房の上部に便所は駄目、その他こまごまとした注文が多かった。

②店舗の駐車場を除いて、敷地を極限まで絞り、道路幅が大きいといった点である。

私も 21 年この試験に従事してきたが、今回の出題者の力量は評価する。

よい問題が造られることが、この試験制度を支えてくれるし、面白くもする。